

Title	永田安吉氏蒐集安南本目録
Sub Title	
Author	岩井, 大慧(Iwai, Hirosato)
Publisher	三田史学会
Publication year	1935
Jtitle	史学 Vol.14, No.2 (1935. 8) ,p.101(283)- 109(291)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19350800-0101

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

永田安吉氏蒐集安南本目録

岩井大慧

東亞の地圖を披見するものは、誰れでも氣付くことであらう。支那大陸を中心として、左右兩翼に、安南（今の印度支那）と朝鮮とが、並存してゐることであるが、この支那本部を挟んで、東西に位してゐることは、やがて歴史的に見ても、まだ文化的に見ても、一つの面白い對稱をなしてゐることとなる。有史以來、所謂中國に發達した燦然たる支那文化の放射が、東して朝鮮に、西（嚴格には西南）して安南に遍照されたものである。今日その迹を尋ね得るものは、必ずしも渺しとしない。同一漢字が、安南音と朝鮮音とに、箇々二様の音を遺存してゐるなども、そのよき例證の一

つであらう。而して兩國に於いて、それぞれ編著された文籍も、各々箇々獨特の發達を遂げてゐることなども、注意すべき文化現象と言はねばなるまい。例へば、その板式にせよ、木活にせよ、紙質及び大きさにせよ、裝釘にせよ、それぞれ朝鮮は朝鮮、安南は安南で、特殊な發展を遂げてゐた。東洋史學の分野に於いて、朝鮮本、安南本が、獨自の位置を占むることは、今更自分が事新らしく述べる迄もあるまい。ところが、皮肉にも、この兩文獻ともに、數奇な運命に弄ばれて、漸次佚亡の淵に沈みつつあるのである。今にしてこれが蒐集を行はなければ、後日贋を喰むでも及ばぬこと

とならう。

自分の關係してゐる東洋文庫に於ては、この見地から、兩國典籍の收架に留意し、大に努力はしてゐるが、中々さう容易に手に入るものではない。然るところ、往年、(大正十三年)、元京城駐劄帝國朝鮮公使館通譯官前間恭作氏が、その在任中、收得された朝鮮本、四四二部一七六一冊を、古地圖及び拓本と共に、東洋文庫に寄贈されたことがある。後また文學博士吉田東伍氏の蒐書を譲受け、漸進的ではあるが、以て排架を豊にしてゐる。然るに、安南本に至つては、僅少の和刻本と、歐西人の翻譯に附刊覆刻された三四を藏してゐる外、何物も有つてゐなかつたのである。ところが、昨年八月、慶應義塾大學教授、畏友松本信廣君の斡旋により、前印度支那河内駐在帝國總領事永田安吉氏(現外務省調査課長)より、安南本九二部五五〇冊の寄贈を受けた。同氏はその在任中、任

地の風俗、習慣、地理、歴史、法律等に興味を持たれ、その研究史料として、安南本の重要なに著眼された。該地の風土の關係上と、佛國政府の或政策上とから、漸次この貴重文籍の喪失しつつあるを目撃された同氏は、痛くこれを慨嘆され、私財を投じてこれが買収に着手され、多大の辛勞と努力とを重ねて、蒐め得たものであつた。氏が歸朝後、この蒐書の最も有效に且つ安全に、活用されるところあらば、とて選ばれたのが、我が東洋文庫であつた。氏のこの美舉に對しては、吾々は、滿腔の感謝と、多大の敬意とを表はさねばならぬ。この壯舉は、啻に文庫の欣びであるのみならず、近時漸く擡頭しつつある越南研究の學徒にとりても、睡涎おく能はざるものであるに相違ない。繁忙なる外交官の任にあつて、而もなほ忙中閑を作つて、その任地の文化研究に著眼せられし、同氏の好學心に對しても、吾々は絶大の贊辭

を擰げねばならぬ。先きの前間氏にしても、今次
の永田氏にしても、我が國外交官中につては、
稀に見る篤學の士と言はねばならぬ。

本誌の第拾參卷第四號(昭和九年十二月)に、既に松本君
が河内極東學院所藏の安南本目錄を掲載されてゐ
ることは、讀者の周知するところである。吾々文
獻を取扱ふ者は、爲に大にその餘慶を蒙つてゐる。

の先輩石田學士が、昨年一月「史學雜誌」に、ほ
んの一部分ではあるが、紹介され、中に就いて、
その裝潢様式の宋本その儘のものあり、今日支那
本土に於いてさへ、その形跡を絶つてゐると言は
れる装釘上の見本として、興味深きものあること
にも言及されてゐるから、その方面に趣味をお有
ちの方は、ついて見られ度い。

先きに東方、朝鮮文獻蒐書の寄贈があり、今まで
文庫が贈られた永田氏の蒐書は、恐らく、現在に
於いては、我が國唯一の安南本コレクションであ
らうと考へられるがゆゑに、本誌を通じてその目
を傳へ、以て松本君の目錄と、對照上の便宜にも
と考へ、請はるるままに、拙稿を敢て送ることと
したのである。尤もこの蒐書のことは、既に同學

西方、安南典籍蒐書の惠贈があつた。かくて、支那
本部のそれの充實と相待つて、愈々我が國東洋學
研究の上に、貴重なる材料の收輯されて行くこと
を喜ぶと共に、今後能ふ限りの努力を以て、これが
補充をはかり、同氏の好意に酬いなければならぬ。

永田安吉氏蒐集安南書受贈目錄

(昭和九年八月十三日)

- 一、欽定越史通鑑綱目 前編三冊 正編十八冊 計廿一冊 九、大南正編列傳初集 「大形」 五冊
嗣德六年(一八五六年)
- 二、越藍小史 (別名春秋) 黎謹序 〔廿八・廿九・卅一・卅二缺〕
維新二戊申年(一九〇八年) 三冊
- 三、大越史約 黃道成志 〔上黃下黑〕 上下二冊 一冊
- 四、越史賡評 一卷 阮德著
成泰丙午十八年(一九〇六年) 一冊
- 五、中學越史撮要 吳中豆著
春夏秋冬四冊 維新五年(一九一年) 一冊
- 六、國朝史撮要 高春育著
七冊 維新戊申二年(一九〇八年) 一冊
- 七、大南寔錄 正編
一冊 維新二戊申年(一九〇八年) 一冊
- 八、大南正編列傳初集 (寫本) 「小形」 五冊
廿七、存(不完) 卷一十七、八一、三、一四一、一八、一九一、廿一
- 九、大越地輿全編 五卷 (別名方輿輿地志類)
五冊 極東學院所藏本ヲ永田氏が賡寫セシメシモノ、永田氏朱書
成泰甲子十二年(一九〇〇年)

二、大南一統志 卷十七

十五冊

元、又 [八、九、十、十九、三]

(未完)

十四冊

成泰十八年以前ノコトヲ記セリ (一九〇七年)

三、又 (寫本)

[二、三、四、五、十六、缺]

七冊

八、大南一統志 (寫本) [東京地方ノミノ部]

五冊

成泰八年正月廿日 (一八九六年)

九、皇越地輿誌

成泰九年 (一八九七年)

二、南國地輿 不分卷 梁竹潭撰

一冊

維新二戊申年 (一九〇八年)

三、[溫溪]撫蠻雜錄 三卷 阮子雲著

一冊

成泰十戊戌年 (一八九八年)

三、如西日程 (寫本)

一冊

三、又 (寫本)

一冊

四、蕉園別錄

一冊

五、大南會典 九十六卷

九十六冊

六、大南典例撮要新編 不分卷

一冊

吏、戶、禮、兵、刑、工、例 四冊
維新三年十月六日序

三冊

成泰廿一年 (一九〇九年)

七、國朝律例 三卷

一冊

八、皇越律例 二十二卷

十一冊

嘉隆十一年 (一八一二年)

(右) 内三八卷ハ永田氏學院本ニヨリ謄寫セシメシモノ

三、萬國公法

一冊

三、法令稿本 (寫本)

一冊

案略 (寫本) 成泰十二—十七年
(一九〇〇—五年)

二冊

三、法文

一冊

會同詔本改 (寫本) 成泰十二年
(一九〇〇年)

二冊

改革 (寫本) 成泰十三年
(一九〇一年)

一冊

全轄官吏隸總里履歷

一冊

四、東洋政治

一冊

五、歷朝憲章類誌 四十九卷
維新三己酉年 (一九〇九年)

一冊

六、潘輝注 (寫本)

十六冊

一、一五、六一八、九一一、一二一一五、一六一一八、一
九、二〇一二二、二三一二五、二六一二八、二七一三三、
三四一三七、三八、三九一四一、四二一四三、四四一四六、
四六一四九、完

一冊

三七、又 四十六卷 (邦交誌) ヨノ餘九冊アリ

(六一八、二ツ) 九一一二(複)、一三一一五、一六
一九、二三一二五、三三一三五、四二一四五、一六

三八、芸臺類語 九卷 黎貴惇譏 (寫本)

景興三十八丁酉年 (一七七七年)

三九、又 (寫本) 破損 [一、二、九、缺]

三册 三、四、五、六、七、八、存

(不完)

四〇、柳齋遺集

四一、公暇記聞 二卷 (寫本)

上卷ノミ存

四二、桑滄偶錄 二卷 范廷琥等編

(不完)

四三、又

四四、舊編傳奇漫錄 四卷 阮嶼著

成泰丙申八年 (一八九六年)
永盛九年 (一七一三年)

上卷存

四五、玉山經壇神化除災解難金冊

四六、哭、璧神經 (寫本)

四七、哭、御製越史總詠集 目錄一、本文一〇

四八、哭、德御製文初集

四九、同 二集

五〇、嗣 德御製詩初集 目錄二、本文十五

五一、同 二集目錄二、本文十五

五二、慈訓錄 十七冊

五三、御製越史總詠

五四、西、方亭文類 阮方亭著 卷一、二、三 三冊

五五、西、方亭萬里集 三冊

五六、西、方亭嚶言詩集 一ノ一、二 三冊

五七、天、蔗園全集 二十六卷 阮小臯檢輯 二冊

五八、天、方亭詩類流覽 二ノ一 二冊

五九、天、袁瓊 倉山詩集 四十八卷 [小形] 一冊

六〇、天、袁瓊 倉山文遺集 [大形] 一冊

六一、天、袁瓊 倉山文遺集 [大形] 一冊

六二、朱謝軒詩後集 (寫本) 卷二存 一冊

六三、朱謝軒詩後集 (寫本) 卷二存 一冊

六四、朱謝軒詩後集 (寫本) 卷二存 一冊

六五、朱謝軒詩後集 (寫本) 卷二存 一冊

六六、朱謝軒詩後集 (寫本) 卷二存 一冊

六七、朱謝軒詩後集 (寫本) 卷二存 一冊

六八、朱謝軒詩後集 (寫本) 卷二存 一冊

六九、朱謝軒詩後集 (寫本) 卷二存 一冊

(不完)

空、柴山詩錄 阮保撰

山房雜賦

柴山風景賦

附傳統碑記

捐助啓文

山寺聯錄

景統三庚申年（一五〇〇年）〔復刻〕

空、萬里行吟 裴文禩著

嗣德廿一年（一八七八年）

空、黎朝鄉選

嗣德乙亥二十八年（一八七五年）

卷一—六 存

六冊

三一四、五一六、七一八、九一一〇、一一一一、一七一
一八、二一一二二、二三一二四、二五一二六、二七二
八、三三一三四、三五一三六、三九一四〇、四一十四二、
四五一四六、四九一五〇、五一十五二、五三一五四、（複）

存

空、青邱高季迪先生詩集 十四卷（寫本）

四冊

金檀星轉注

空、諒城紀勝（寫本）

一冊

空、武東暘文集（寫本）

一冊

空、皇越文選

卷五存
(不完)

一冊

空、皇越歷科詩賦

卷三存
(不完)

一冊

空、皇朝羣臣慶賀集（寫本）

一冊

一冊 七、鄉試文選（破損）

成泰三年辛卯（一八九一年）

一冊 八、詩奏令編 審慎明編輯

成泰十六年（一九〇四年）

一冊 九、欽定詠史賦

（不完）

十九冊

一冊

一冊

一冊

一冊

七、啓童說約 范復齋輯（表紙缺）

一冊

七、御製丁丑元旦示臣工……（寫本）

一冊

七、征婦吟備錄 陳琨著

一冊

七、宮怨吟

一冊

七、維新壬子六年（一九一二年）

合綴

七、無名本（不詳）（寫本）

一冊

九、大清律例會通新纂 一、二、五、六、十一、十四、十七、廿四、廿七、十八、缺ナリ

(不完) 十一冊

八、四書引解

卷七

論語解二

卷八

論語解三

卷九

論語解四

卷十

論語解五

卷十一

論語解六

卷十二

論語解七

卷十三

論語解八

卷十四

論語解九

卷十五

孟子解一

卷十六

孟子解二

卷十七

孟子解三

卷十八

孟子解四

卷十九

孟子解五

卷二十

孟子解六

卷二十一

孟子解七

卷二十二

孟子解八

卷二十三

孟子解九

卷二十四

孟子解十

卷二十五

孟子解十一

卷二十六

孟子解十二

卷二十七

孟子解十三

卷二十八

孟子解十四

卷二十九

孟子解十五

卷三十

孟子解十六

卷三十一

孟子解十七

卷三十二

孟子解十八

卷三十三

孟子解十九

卷三十四

孟子解二十

卷三十五

孟子解二十一

卷三十六

孟子解二十二

卷三十七

孟子解二十三

卷三十八

孟子解二十四

卷三十九

孟子解二十五

卷四十

孟子解二十六

卷四十一

孟子解二十七

卷四十二

孟子解二十八

卷四十三

孟子解二十九

卷四十四

孟子解三十

卷四十五

孟子解三十一

卷四十六

孟子解三十二

卷四十七

孟子解三十三

卷四十八

孟子解三十四

卷四十九

孟子解三十五

卷五十

孟子解三十六

卷五十一

孟子解三十七

卷五十二

孟子解三十八

卷五十三

孟子解三十九

卷五十四

孟子解四十

卷五十五

孟子解四十一

卷五十六

孟子解四十二

卷五十七

孟子解四十三

卷五十八

孟子解四十四

卷五十九

孟子解四十五

卷六十

孟子解四十六

卷六十一

孟子解四十七

卷六十二

孟子解四十八

卷六十三

孟子解四十九

卷六十四

孟子解五十

卷六十五

孟子解五十一

卷六十六

孟子解五十二

卷六十七

孟子解五十三

卷六十八

孟子解五十四

卷六十九

孟子解五十五

卷七十

孟子解五十六

卷七十一

孟子解五十七

卷七十二

孟子解五十八

卷七十三

孟子解五十九

卷七十四

孟子解六十

卷七十五

孟子解七十一

卷七十六

孟子解七十二

卷七十七

孟子解七十三

卷七十八

孟子解七十四

卷七十九

孟子解七十五

卷八十

孟子解七十六

卷八十一

孟子解七十七

卷八十二

孟子解七十八

卷八十三

孟子解七十九

卷八十四

孟子解八十

卷八十五

孟子解八十一

卷八十六

孟子解八十二

卷八十七

孟子解八十三

卷八十八

孟子解八十四

卷八十九

孟子解八十五

卷九十

孟子解八十六

卷九十一

孟子解八十七

卷九十二

孟子解八十八

卷九十三

孟子解八十九

卷九十四

孟子解九十一

卷九十五

孟子解九十二

卷九十六

孟子解九十三

卷九十七

孟子解九十四

卷九十八

孟子解九十五

卷九十九

孟子解九十六

卷一百

孟子解九十七

卷一百一

孟子解九十八

卷一百二

孟子解九十九

卷一百三

孟子解一百

卷一百四

孟子解一百一

卷一百五

孟子解一百二

卷一百六

孟子解一百三

卷一百七

孟子解一百四

卷一百八

孟子解一百五

卷一百九

孟子解一百六

卷一百十

孟子解一百七

卷一百十一

孟子解一百八

卷一百十二

孟子解一百九

卷一百十三

孟子解一百十

卷一百十四

孟子解一百一

卷一百十五

孟子解一百二

卷一百十六

孟子解一百三

卷一百十七

孟子解一百四

卷一百十八

孟子解一百五

卷一百十九

孟子解一百六

卷一百二十

孟子解一百七

卷一百二十一

孟子解一百八

卷一百二十二

孟子解一百九

卷一百二十三

孟子解一百十

卷一百二十四

孟子解一百一

卷一百二十五

孟子解一百二

卷一百二十六

孟子解一百三

卷一百二十七

孟子解一百四

卷一百二十八

孟子解一百五

卷一百二十九

孟子解一百六

卷一百三十

孟子解一百七

卷一百三十一

孟子解一百八

卷一百三十二

孟子解一百九

卷一百三十三

孟子解一百十

卷一百三十四

孟子解一百一

卷一百三十五

孟子解一百二

卷一百三十六

孟子解一百三

卷一百三十七

孟子解一百四

卷一百三十八

孟子解一百五

卷一百三十九

孟子解一百六

卷一百四十

孟子解一百七

卷一百四十一

孟子解一百八

卷一百四十二

孟子解一百九

卷一百四十三

孟子解一百十

卷一百四十四

孟子解一百一

卷一百四十五

孟子解一百二

卷一百四十六

孟子解一百三

卷一百四十七

孟子解一百四

卷一百四十八

孟子解一百五

卷一百四十九

孟子解一百六

卷十九

卷十(複)(十一缺)

卷十二

卷十三

卷十五

卷十六

卷十八

卷十九

卷二十

卷二十一

卷二十二

卷二十三

卷二十四

卷二十五

卷二十六

卷二十七

卷二十八

卷二十九

卷三十

卷三十一

卷三十二

卷三十三

卷三十四

卷三十五

卷三十六

卷三十七

卷三十八

卷三十九

卷四十

一冊七冊

九、四六法海 卷三十六(共に異板)存

九、御纂醫宗全鑑 卷五存

九、策學纂要 卷一〇一一六存

一冊

(因ニ言フ特ニ註記ナキハ刊本ヲ意味ス。七九番以後ハ漢籍

ノ安南複刻板ト覺シキモノヲ採レリ、コノ種ノモノ尙ホ十數

種存スレドモ、的確ナラザレバ今ハコレヲ略セリ。後日研究

ノ結果補正ヲ要スベキモノアルヲ信ズ)

一冊

二〇冊存

十九冊

八、孔子家語 卷三、四存

八、康熙字典 丑上、巳下、午上、未上、申上、酉上下、缺未

八、性理大全 一〇、一三、五、八一、一三、一二四存